



SPONSORSHIP

25

# 2025年度 プライドハウス東京 スポンサーシップ説明資料

2025年2月28日



# 目次 / Table of Contents

1. プライドハウス東京について	p.4
2. プライドハウス東京レガシーについて	p.11
3. 今後のビジョン	p.15
4. 協賛企業様との取り組み	p.18
5. 2025年度の協賛パッケージ	p.25



# 日本語 / Japanese



# プライドハウス東京について



# プライドハウス東京について



プライドハウス東京は様々なステークホルダーによって成り立つコンソーシアムです。  
協働をキーワードに、コレクティブインパクトの創出を目指します。

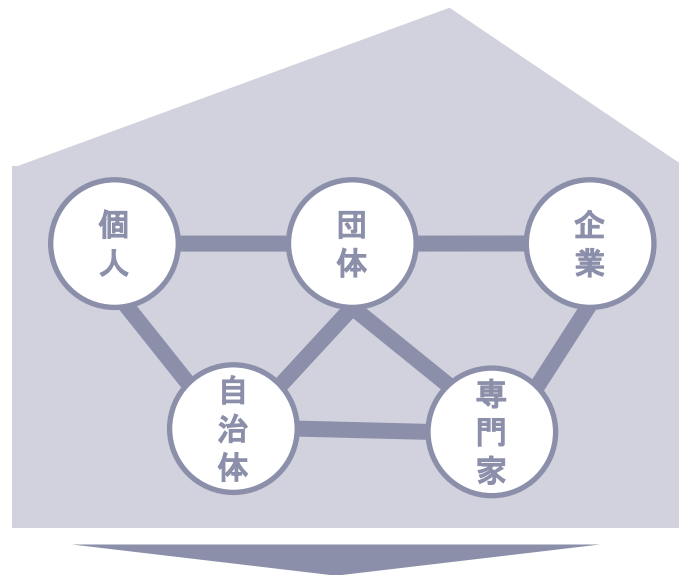
## プライドハウス東京の概要



PRIDE HOUSE  
TOKYO JAPAN  
2020 →

「プライドハウス東京」は、セクターを超えた団体・個人・企業などが協働するコンソーシアムです。

2024年10月現在、26の団体・専門家、33の企業その他、アスリートやスポーツ関係者、自治体などがセクターを超えて連携しています。



セクターを超えた  
コレクティブインパクトの創出・拡大

# 私たちのビジョン、ミッション、バリュー



コンソーシアム全体で描画したビジョンに向け、プライドハウス東京はミッションと提供バリューを掲げています。



## ビジョン(私たちが目指す世界)

LGBTQ+ & アライのコミュニティが、さまざまな制約を超えて、安心してつながり、互いに活力を得て、より良い暮らしに向けて多様なステークホルダーと協働できる、持続可能な世界。



## ミッション(ビジョン実現の為の行動)

全ての人々が、性のあり方によって取り残されることなく、平等に、すこやかに生きられる社会づくりに貢献し、さまざまな分断を超えるための希望と経験を創出。



## 我々が提供するバリュー

ともに  
学ぶ

SOGIESCに関する調査・支援・取り組みの総合情報ポータル。コミュニティがこれまで培ってきた文化や活動を、未来につなげるアーカイブ。

ともに  
支える

いかなる性のあり方の人とも尊重する、安全な場所。困難を抱える人(特にユースや複合マイノリティなど)への適切な支援を提供する窓口。

ともに  
動く

全国の団体・企業・自治体等が知恵や経験を共有し、新たな価値を生み出せるつながり。全国の人たちが気軽に参加し、応援し合える仕組み。

プライドハウス東京は様々な事業を実施しています。実施事業を通して、国内におけるLGBTQ+コミュニティの課題解決に貢献しています。

## 国内におけるLGBTQ+コミュニティの課題と解決策

### 1 大きなインパクト創出の困難さ

各地のNPOにリソースが分散しているため、大きなインパクトを生み出すことができず、**取り組み規模を拡大しにくい構造**（各団体は自運営でも手一杯であり、連携を強化することが難しいのも現実）

#### 解決の方向性

**NPOやその他活動団体をつなぐ「場」の形成**

### 2 情報やノウハウの分散

纏まった情報にアクセスしようとした場合にも、情報が分散しており、個別のNPOに問合せが行ってしまうなど、**ポータルのな情報提供を行う仕組みがない**（どのようなニーズがあるのかを把握するのも困難になっている）

#### 解決の方向性

**LGBTQ+関連情報の集約・集積・共有**

### 3 地域のスキル取得の難しさ

学びの意欲があっても、地方自治体のソーシャルワーカーやNPO担当者などが、**知識や実践スキルを強化する機会や場が限られている**。

#### 解決の方向性

**地域格差を埋める人材交流・育成・ノウハウ共有**



# 8つのチーム



プライドハウス東京では、8つのチームが存在します。組織作りや施設運営を担うチーム以外は3つのバリューに合わせて編成され、コレクティブインパクトの創出を目指します。

提供バリューに応じて  
チームを編成。

ともに学ぶ

ともに支える

ともに動く



レガシー運営



仕組みづくり



教育・多様性発信



文化・歴史・アーカイブ



ウェルネス・サポート



居場所づくり



アスリート発信



祝祭・スポーツイベント・ボラ  
ンティア





# 全国規模での活動・連携



プライドハウス東京は東京のみならず、全国各地におけるパレード参加、地域団体・大学・自治体等との連携を通して全国規模でのコレクティブインパクトを創出します。

## 全国各地における活動例

### 大学イベント等での「出張レガシー」



「出張レガシー」は、大学のイベント等にてLGBTQ+の方たちの居場所作りやLGBTQ+に関する啓発、情報発信等を行う活動です。

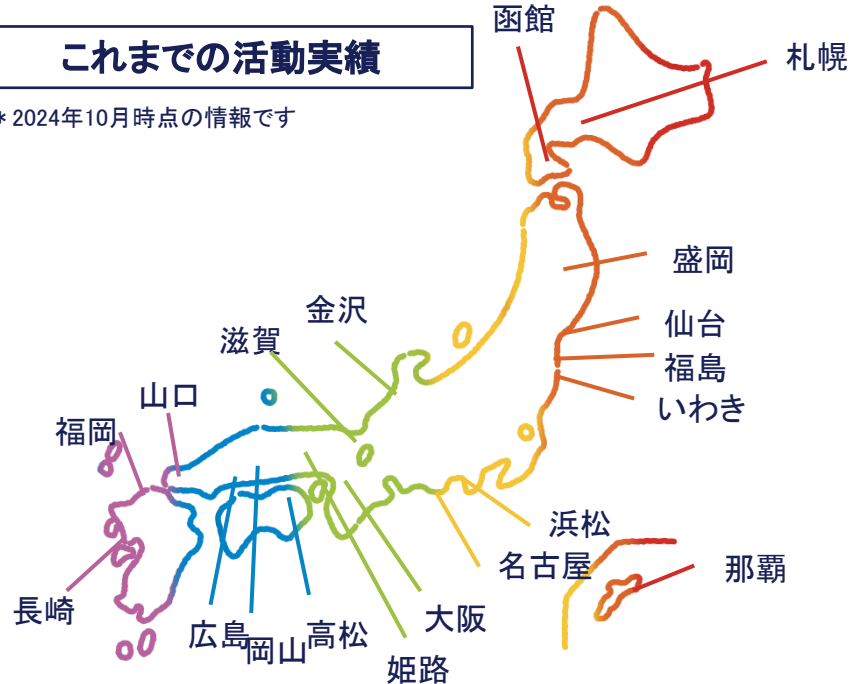
### 世界水泳選手権を通じた福岡市でのアウトリーチ



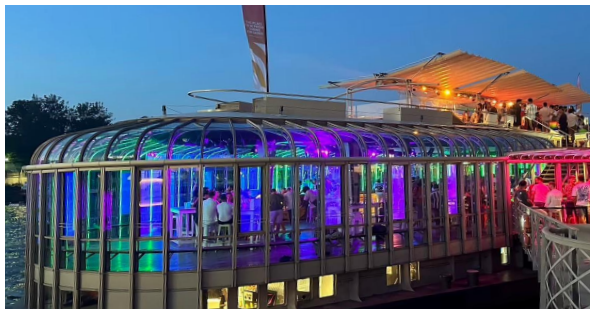
- 世界水泳選手権2023福岡大会にあわせて、プライドハウス福岡として7月に活動を展開。
- 福岡市との情報発信ブースや、市長訪問、国内外のオリンピックを招いたトークショーなどを開催しました。

## これまでの活動実績

\* 2024年10月時点の情報です



# 🏳️‍🌈 プライドハウスパリとの活動



プライドハウスパリは2024年7月29日にセーヌ川沿いのアレクサンドル3世橋近くに浮かぶ船上レストランでオープニングイベントを行い、期間中(7/29~8/11)は拠点にて試合の中継や、ショーなどを行い、賑わいを見せました。



プライドハウス東京はオープニングイベントでハンドオーバーのバトンとして、記念の旗を贈呈しました。また、翌日30日は「大規模スポーツ大会を通じたLGBTQ+の権利運動の促進」と「プライドハウスに期待される役割」をテーマに、プライドハウスパリの共同代表ジェレミーさんとプライドハウスインターナショナルのエミーさんを招き、トークショーを実施しました。

# プライドハウス東京レガシーについて



# プライドハウス東京レガシーについて



プライドハウス東京レガシーはプライドハウス東京が設置・運営する常設の大型総合LGBTQ+センターです。情報発信、居場所づくり、相談窓口の設置が主な目的です。



## プライドハウス東京レガシーとは？

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるタイミングを契機と捉え、国際カミングアウト・デーである2020年10月11日(日)に、日本で初めてとなる常設の大型総合LGBTQ+センター『プライドハウス東京レガシー』を、東京都新宿区にオープンしました。

LGBTQ+などの性的マイノリティ(以下LGBTQ+)に関する情報発信を行うホスピタリティ施設を通じて、多様性に関する様々なイベントやコンテンツを提供することを目指しています。

### プライドハウス東京レガシーで出来ること



#### 居場所

- ぼーっとする
- 待ち合わせ



#### 交流

- 職員と会話
- 来館者間交流



#### 情報収集

- 書籍・雑誌の  
閲覧



#### 設備利用

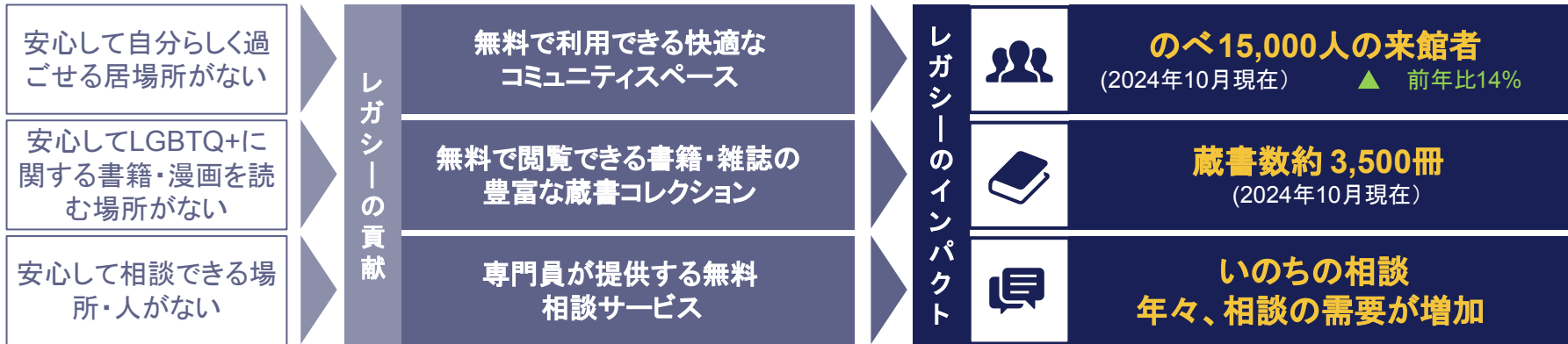
- 宿題や作業
- 相談 など...

# レガシーのインパクト



プライドハウス東京レガシーは国内初のLGBTQ+常設大型総合施設として、継続して使用できる施設や相談サービスを提供しています。

## レガシーが解決できる課題・インパクト





LGBTQ+いのちの相談窓口  
見えない心のつらい気持ちを  
伝えるあなたへ



WRAPAROUND SUPPORT  
LGBTQ+の悩みを  
解決するためのサポート

詳細についてはプライドハウス東京のHPを参照

\*注:プライドハウス東京レガシーは月～火、金～日にて、13:00-19:00にてオープン。

# 今後のビジョン





# 25年度までの重点項目



プライドハウス東京は2023年度から2025年度にかけて、コンソーシアムの活動の軸となる3つの重点項目を掲げ、活動を進めています。

## 2025年度までの重点項目

### 1 居場所運営体制の安定化

「居場所」とはレガシーの施設で提供する、相談支援・交流会・ライブラリを含みます。

「居場所」の継続的な運営を行うための基盤強化行政との連携・協働、企業協賛・マンスリーサポーター強化など。

### 2 全国のLGBTQ+コミュニティとの連携

地域の団体との協働を通じて、知見やリソースを共有し、お互いのプラスになることを目指します。

全国居場所ネットワークづくり、全国へLGBTQ+の居場所づくり支援など。

### 3 「コンソーシアム」としての機能の強化

ともに学ぶ・支える・動くチームを軸とした活動・横断型活動の強化を進めます。NPO・企業などの多様なセクターとの協働を充実させます。

コンソーシアムの枠を越えた官民産学の連携でミッションの達成を目指します。




# ベンチマークとなる社会的動き



プライドハウス東京コンソーシアムが参加・貢献できる世界的スポーツ大会や社会的イベントは、これからも数多く予定されています。

今年



年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
主要な動き	ラグビーW杯	コロナ禍	東京2020大会		世界水泳福岡	パリ2024大会	デフリンピック東京	アジア競技大会 愛知・名古屋 同性婚訴訟最高 裁判決予定	文科省学習指導要領改訂
動向	 PHT2019		チーム活動				<b>重点項目に沿った活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 居場所運営体制の安定化</li> <li>● 全国のLGBTQ+コミュニティとの連帯</li> <li>● 「コンソーシアム」としての機能の強化</li> </ul>		



# プライドハウス東京ERGについて

※協賛企業様との個別の取り組みについては、お問合せください





# ERGの取組 1/3



協賛企業様は、プライドハウス東京ERG\*に参加することができます。他企業との交流や、合同企画の立案・実施、ボランティア活動への参加が可能です。

## ERGとは？

「Employee Resource Group」の略  
プライドハウス東京に協賛いただいている企業のグループを「プライドハウス東京ERG」と呼んでいます。年間を通じて様々な活動をご一緒にしています。

## ERGでできる事



毎月の定例会



合同企画の立案



情報交換



ボランティア活動

業界を超えたコネクション作りが可能な上、  
ボランティア活動の機会を従業員に提供することが  
可能です

## ハイブリッドERG定例会 2024年8月の様子



他社様よりDE&IやESG関連のヒアリング  
要望をお受けすることがあります。

懇親会では多くの方と交流を持つことができ大変  
刺激的でした。

LGBTQ+の取り組みで取材依頼が  
増えました

# ERGの取組 2/3



東京レインボープライドをはじめ、国内の各種イベントにて、協賛企業の皆様にボランティアサポートをいただいております。

## ボランティアサポートを頂いたイベントの例

24年6月



### 大和シルフィード プライドマッチ

- ・LGBTQ+啓発ブースの設置
- ・スタジアムのオープニングセレモニー参加

24年6月



### オリパラ・スポーツ分野メ ディアブリーフィング

- ・パリオリンピックに向けたメディアへの勉強会・懇親会の開催

23年7月



### 15人制ラグビー日本代表 プライドマッチ

- ・LGBTQ+啓発ブースの設置
- ・トークイベント参画

## ERG企画参加者の声

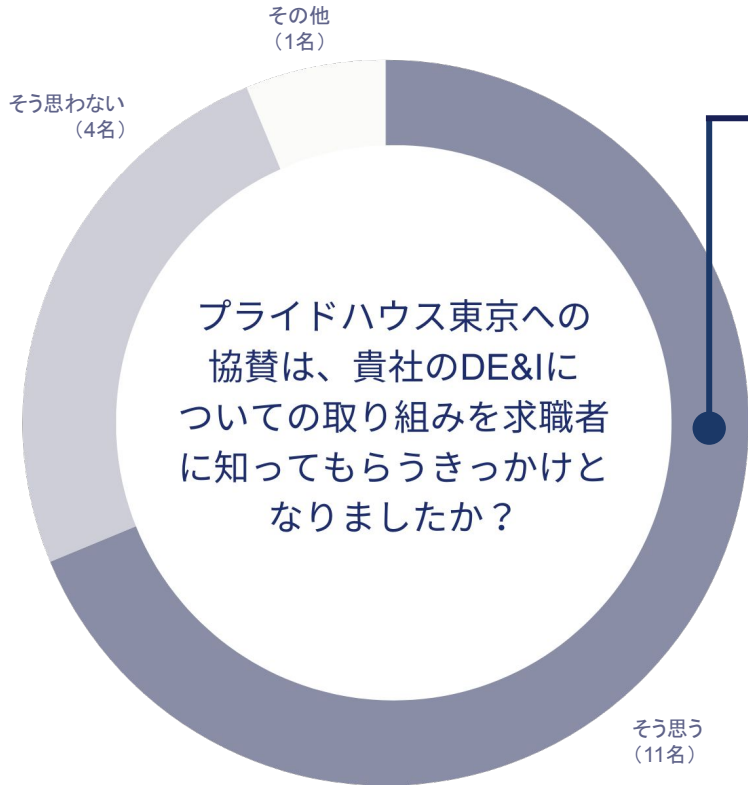
活動に参加してみて、改めて自分の知らない情報や価値観に触れられた。  
(保険会社)

普段見ることのない角度でオリンピックについて考えることができた時間だった  
(医薬品会社)

スタジアムでの挨拶機会もあり、楽しい時間を過ごすことができた。  
(保険会社)



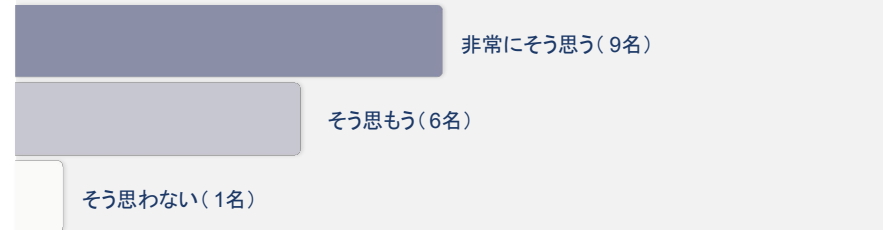
# ERGの取組 3/3



約7割の企業担当者さまが求職者に知ってもらうきっかけとなった と回答

プライドハウス東京に協賛したことが、他参加企業の DE&I施策について学ぶきっかけにもなったと思いますか？

約9割 の企業担当者さまが他の参加企業の DE & I施策について学ぶきっかけとなった と回答



調査: 2024年7月1日~7月29日オンラインで実施 (n<20)

# 2025年度の協賛パッケージ





# 2025年度・協賛パッケージのご案内



2025年度も、4つの協賛パッケージをご用意しています。社会的インパクトを共同で創出できる協働プロジェクトは、「ダイヤモンド」パッケージから実施が可能です。

	 レインボー 300万円(税別)	ダイヤモンド 100万円(税別)	ゴールド 50万円(税別)	シルバー 30万円(税別)
協働プロジェクト	2つ	1つ	なし	なし
社内研修会	1回+Human Library	1回	選択式※	なし
特別動画の配信	あり	あり	あり	あり
ERG定例会参加権	あり	あり	あり	あり
レガシー利用権	2回	1回	選択式※	なし
ロゴ・社名露出	大	中	小	最小

## 補足

※選択式＝社内研修会またはレガシー利用権、いずれかをお選びいただけます。

**Human Library:**「生きている図書館」とも言われ、来場者が聞き手となって少人数で対話するというスタイルです。

**特別動画の配信:** 年に2回、社内研修や勉強会に活用していただける特別動画配信をいたします。協賛企業様の従業員の方はどなたでもご視聴いただけます。

**レガシー利用権:** 休館日の水曜・木曜について、日程調整の上、ご利用いただけます（研修、見学、ワークショップ等）。



# (協賛パッケージの補足)1/2



## 協働プロジェクト

### 趣旨

企業とプライドハウス東京のリソース\*を持ち寄り、様々な形でLGBTQ+の発信を行うことによって、コレクティブインパクトをもたらす機会とします

### 備考

プロジェクト1件あたりMTGは6回程度、参画スタッフは2名程度。レインボーは、2つ分を合算して利用することも可能です

※できる限り柔軟にご要望にお応えいたしますが、リソースに限りがあるため、ご希望内容によっては、追加の費用負担やサポート内容の変更をお願いする場合がございます。(＊PHTチームの提供できるリソースの種類(当事者目線からのアイデア出し／助言／アドバイス／監修(社内向け資料等))

## 社内研修

### 担当者

研修会の研修講師は、原則、共同代表が担当しますが、ご希望テーマによってはご相談に応じます。事前MTGは1回程度

### 備考

レインボーは、ヒューマンライブラリ(1-2名)実施が可能。それ以外のメニューで複数スピーカーのリクエストがある場合は、別途費用を申し受けます

※共同代表以外の方に研修を依頼したい場合、当該講師の標準的な研修費を参考に追加費用をいただく場合があります。

## 特別動画の配信

### 備考

特別動画を提供(YouTube配信・年2回)します。各動画は約1ヶ月半の間、視聴が可能です。協賛企業の従業員の方でしたら、どなたでもご視聴いただけます。※手話通訳あり、英語は字幕対応

### 備考

- 2024年に提供した特別動画**
- 「パリオリパラ直前企画 改めてプライドハウスとは」(6月)
  - 「読書の秋 今読みたいこの一冊 LGBTQ+ブックトーク」(11月)





# (協賛パッケージの補足) 2/2



## レガシー利用権

### 備考

原則として、休館日の水曜・木曜、レガシー施設をご利用いただけます(概ね4時間)。  
レガシーのオープン時間外での実施になるため、スタッフが最低1名つきま  
す。準備片付け含めて4時間以上になる場合は、スタッフの稼働費について  
ご相談させていただけますと幸いです。休館日以外での利用ご希望の場  
合はご相談ください。

### これまでの使用例

—A社: 映画上映会。企画・上映は企業様ご担当者。飲食をしながら映画  
の上映。その後懇談会(所要時間準備片付け含め4時間。貸出可能機器:  
マイク4本・スピーカー、大型モニター、着席で約30名)

—B社、C社、D社: オンラインイベントの実施。協働事業をレガシー利用券  
を活用してレガシーで実施。PHTは企画・登壇なども参画(所要時間は準  
備片付け含め4時間)

## ERG定例会

### 参加権

協賛企業同士のネットワークづくりの場とし、月に1回  
の定例会(基本オンライン、年3回程度ハイブリッド開  
催)と、年に1回合同企画を行います。1社あたり3名  
程度の参加とさせていただきます。

### 合同企画

年1回、協賛企業の皆様とともに企画立案した合同企  
画を実施しています。

プライドハウス東京ERG2023・合同企画  
企業の「枠」を超えて  
LGBTQ+社内アライ  
コミュニティを考える交流会  
2.21. 16:30~19:00  
Google フォームよりお申し込み  
参加費 無料  
要お申込み  
山田 悠太

2023年度

LGBTQ+ユース  
EXPO  
みんなが一緒に「働き」をしよう!  
自分らしく働いてワクワク  
3月21日(火・祝)  
10:00~16:00 (受付開始 9:30)  
参加費 無料  
青山オラクルセンター内会議室(東京都港区北青山2丁目5-6)

2022年度











# 参画チームについて



協賛企業様には各チームにご参画いただいています。ご協賛の際、ご希望の参画チームをご教示ください。どのチームが良いかご相談をお受けすることも可能です。

## プライドハウス東京のチーム一覧

 レガシー運営	 教育・多様性発信	 ウェルネス・サポート	 アスリート発信
 仕組みづくり	 文化・歴史・アーカイブ	 居場所づくり	 祝祭・スポーツイベント・ボランティア

●「ともに学ぶ」「ともに支える」「ともに動く」のいずれかに参画いただきます。

● 御社の課題にマッチするテーマをお選びいただけます。

# 2024年度の協賛企業



2024年度では、30社以上の企業にプライドハウス東京へご協賛いただきました。数多くの協賛企業さまが、PRIDE指標でレインボーやゴールドを受賞されています。

Rainbow									
Diamond			 MS&ADインシュアランスグループ	 Here for her health			 東京海上ホールディングス		
						 健康にアイデアを			
Gold		 大日本印刷		 パーソル キャリア				 メットライフ生命	
Silver							 美穂総合リース株式会社	 Meiji Seika ファルマ株式会社	 BOTTLERS JAPAN INC.

プライドハウス東京へ協賛すること、コンソーシアムに加入することは、長期的な企業のPRや研修コストの削減など、様々なメリットがあります。

## 対外的なメリット

### メディアへの露出

協働プロジェクトについてのメディア掲載実績多数

### 先進DEI企業であることのイメージ付け

LGBTQ+に関して先進的な企業であることのアピールが可能

### 長期的なPR

プライドハウス東京は単発的なイベントではなく長期的・継続的なPRが可能

## 対内的なメリット

### 研修コストの削減

協賛パッケージに付随する研修を利用し、コスト削減

### セクターを超えた企業とベストプラクティスの交換

その他企業と合同で研修会を行うことも可能。企業の枠を超えた横断的な活動ができる。

### 従業員へ社会貢献の機会提供

従業員へボランティアや社会貢献の機会を提供可能



# メディア露出



プライドハウス東京は、国内外のメディアで紹介されています。協賛により、LGBTQ+に対して積極的にアクションを起こしている企業というイメージアップが期待できます。

## データハイライト



**100+**

件以上の取材  
(2017-202410月)



**84+**

社以上のメディア  
(2017-202410月)



**113万+**

公式サイトPV数  
(2017-202410月)



**36万+**

YouTubePV数  
(2017-202410月)

1年を通じて  
メディアの露出機会  
が多数有り

貴社の取組を  
可視化可能

## 掲載メディア一覧

毎日新聞、NHK、朝日新聞社、テレビ東京、ハフポスト、東京新聞、 TBS、共同通信、BuzzFeed、ロイター通信、日本経済新聞、北海道新聞



# 公式ガイドブック



毎年6,000部以上発行している公式ガイドブック(公式サイトDL数2,178:2023.11~2024.10)に貴社のロゴ・広告が掲載されます。ガイドブックはレガシーや日本各地のイベントで配布されます。

## 2024年度のガイドブック



8のチームに分けて活動し連携 | Our consortium is divided into eight teams

**A ともにも学ぶ | EDUCATION & RESOURCES**

1 教育・多様性啓発 | Education and Diversity Awareness  
2 文化・歴史アーカイブ | Culture / History / Archives

**B ともに支える | SAFETY & SUPPORT**

3 安全・ wellness サポート | Wellness Support  
4 高層所づくり | Safe Spaces

**C ともに動く | NETWORK & MOVEMENT**

5 イベント企画・実行委員会 | Events  
6 祭典・スポーツイベント・ボランティア | Festivals / Sporting Events / Volunteer

**D ともに支える | SAFETY & SUPPORT**

7 仕組みづくり | Framework for Sustainability  
8 レガシー運営 | Legacy Management

協賛パッケージに応じて、特集ページや対談ページを作成することも可能です。広告のサイズも、協賛パッケージによって異なります。



25

と一緒に活動できることを楽しみにしております！

THANK YOU

申込締切:2025年3月31日(月)  
※締切についてはご相談に応じます。

お申し込み予定の方は、[sponsor@pridehouse.jp](mailto:sponsor@pridehouse.jp) までご連絡ください。





SPONSORSHIP

25

2025 Fiscal Year  
Pride House Tokyo Sponsorship Program

Nov. 13, 2024





# Table of Contents

1. About Pride House Tokyo	p.4
2. About Pride House Tokyo Legacy	p.11
3. Our Future Vision	p.15
4. Initiatives with Our Sponsor Companies	p.18
5. Sponsorship Packages for the 2025 Fiscal Year	p.25



英語 / English



# About Pride House Tokyo





# About Pride House Tokyo



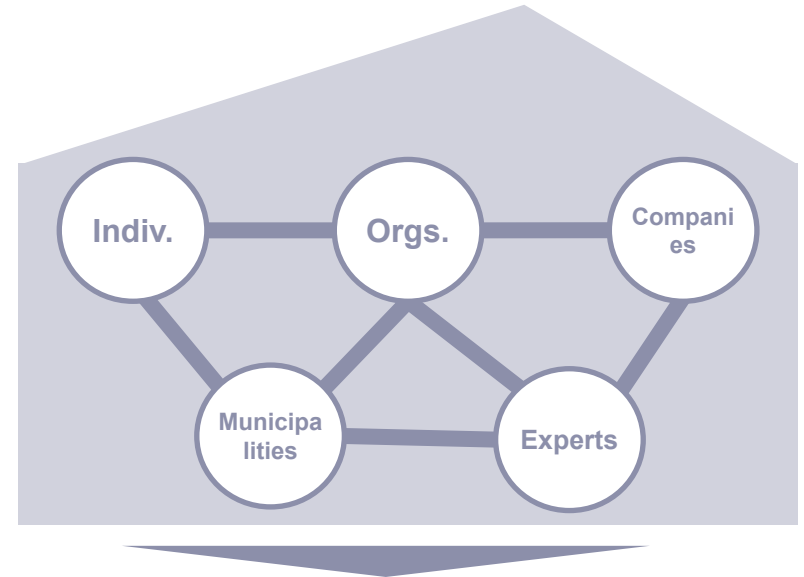
Pride House Tokyo is a consortium project comprised of various stakeholders. Built on the concept of collaboration, we strive for collective impact.

## Pride House Tokyo Overview



Pride House Tokyo is a project that goes beyond sectoral boundaries, involving organizations, individuals, and companies in its consortium.

As of Oct. 2024, this includes collaboration between 26 organizations and experts, 33 companies, athletes and members of the sports industry, and municipalities.



**Creating and Expanding Collective Impact Across Sectors**



# Our Vision, Mission, and Values



Towards a vision created by our entire consortium, Pride House Tokyo holds up the following values:



## Vision (the world we strive for)

We look to establish sustainable safer places where LGBTQ+ and ally communities can foster genuine interactions that empower, support, and boost collaboration amongst us all.



## Mission (how we will achieve our vision)

We strive to contribute to the creation of an equal society where no one is left behind, regardless of their SOGIESC (sexual orientation, gender identity, gender expression, and sex characteristics). We aspire to create hope and experiences that can transcend boundaries.



## Our Values

### Learning Together

A comprehensive information portal for research, support, and initiatives related to SOGIESC. An archive aimed at connecting the culture and activities of the community up until now, and connecting them to the future.

### Mutual Support

Respecting people of all SOGIESC, providing a safe environment, supporting those in need (particularly youth and double minorities) and providing access to appropriate support.

### Working Together

Organizations, companies, municipalities, etc. across the country can share knowledge, create new values, and share a structure to support each other



# Addressing Social Issues



Pride House Tokyo works on a diverse range of projects. Through our work, we contribute to addressing problems facing the LGBTQ+ community.

## Challenges and Proposed Solutions for the LGBTQ+ Community in Japan

### 1 The Difficulty of Creating a Large Impact

Structural issues make it difficult to create a large impact and to expand the scale of initiatives because resources are dispersed among NPOs in various regions (each organization has its hands full with its own operations, making it difficult to strengthen cooperation).

#### Our Approach

**Creating a space that connects NPOs and activist groups**

### 2 Dispersal of Information and Know-how

When people try to access a set of information, the information is dispersed, and inquiries are sent to individual NPOs. There is no shared information portal, making it difficult to know what needs exist.

#### Our Approach

**Aggregation, accumulation, and sharing of LGBTQ+ related information**

### 3 Difficulty of Acquiring Skills in Regional Areas

Despite their eagerness to learn, people in regional areas such as social workers in local governments and NPO personnel, have limited opportunities and places to enhance their knowledge and practical skills

#### Our Approach

**Exchange and development of personnel, and sharing of know-how to bridge regional disparities**



# Our Teams



At Pride House Tokyo, there are eight teams. Aside from the teams responsible for management and creating our organizational structure, our teams are formed based on our core values, aiming at collective impact.





# Activities and Collaboration on a Nationwide Level



Pride House Tokyo aims to create a collective impact on a nationwide scale through collaboration with local organizations, outreach to Pride parades in regions across the country, and more.

## Examples of Our Projects

### Legacy Pop-up Booths at Universities



Our Legacy pop-up booths are an initiative that create safer spaces for LGBTQ+ people, raise awareness, and disseminate LGBTQ+ related information at university events.

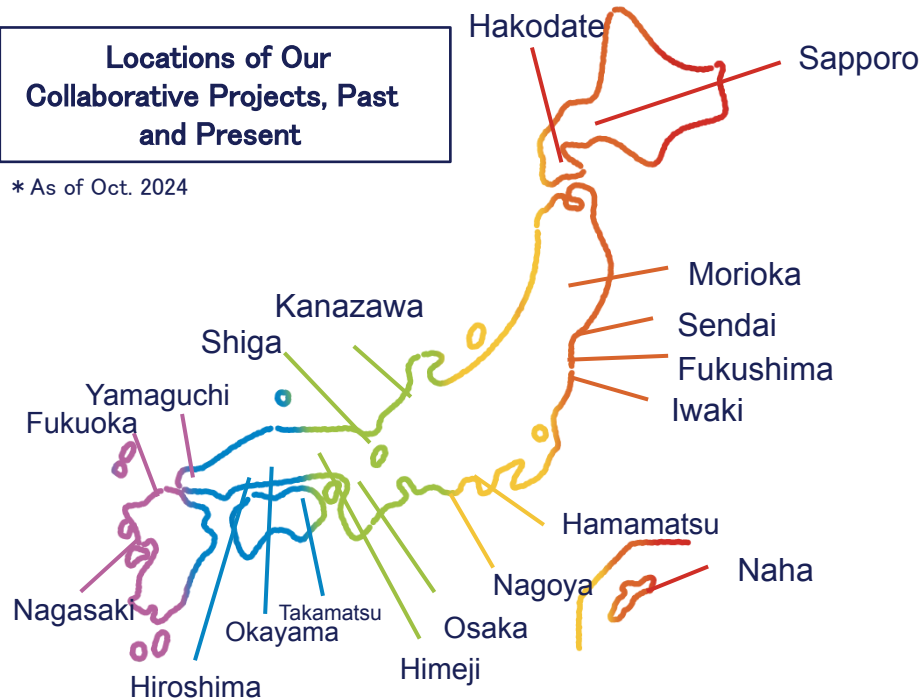
### World Aquatics Championships in Fukuoka: Outreach



For the 2023 World World Aquatics Championships held in Fukuoka, as Pride House Tokyo Fukuoka, we organized activities throughout July. These included an information booth in collaboration with Fukuoka City, a visit to the mayor, and a talk show featuring Olympians from Japan and abroad.

## Locations of Our Collaborative Projects, Past and Present

\* As of Oct. 2024





# Our Activities with Pride House Paris



Pride House Paris held its opening event on July 29, 2024, at a floating restaurant near the Pont Alexandre III along the Seine River. During the event period (July 29 – August 11), the venue offered live broadcasts of matches and various shows, creating a lively atmosphere.



At the opening event, Pride House Tokyo presented a commemorative flag as a symbolic handover. The following day, on the 30th, a talk show was held on the themes of “Advancing LGBTQ+ Rights through Major Sports Events” and “The Role Expected of Pride Houses.” The event featured Pride House Paris co-director Jeremy and Emy from Pride House International as guest speakers.

# About Pride House Tokyo Legacy





# About Pride House Tokyo Legacy



Pride House Tokyo Legacy is a comprehensive centre established by and operated by Pride House Tokyo, working on information dissemination, creating safer spaces, and providing counselling services.



## What is Pride House Tokyo Legacy?

Taking the timing of the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games as an opportunity, Pride House Tokyo Legacy, Japan's first permanent, large-scale, comprehensive LGBTQ+ center, opened in Shinjuku-ku, Tokyo, on Sunday, October 11, 2020, International Coming Out Day. The center aims to provide a variety of diversity-related events and content through disseminating information related to LGBTQ+ and other sexual minorities (hereafter, "LGBTQ+").

### Things You Can Do at Legacy



#### Use our space to...

- Relax, space out!
- Meet up with friends



#### Chat

- Talk with staff
- or other visitors



#### Gather Information

- View books, magazines, etc.



#### Use services

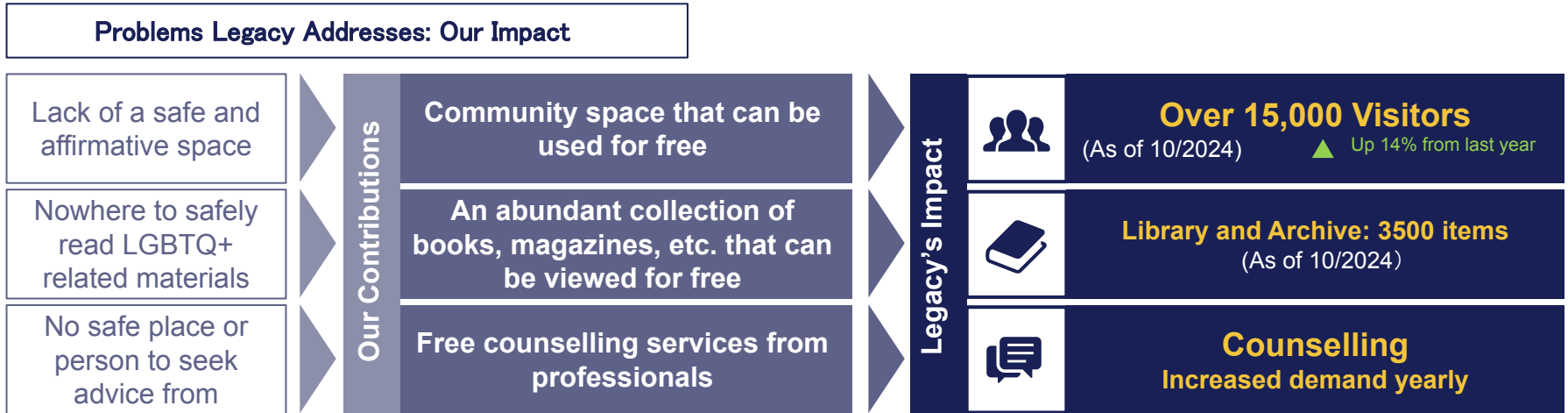
- Counselling
- etc...



# Our Impact



As the first comprehensive LGBTQ+ centre in the country, Pride House Tokyo provides a space and services and that can continuously be used.





LGBTQ+  
いのちの相談窓口  
見えない心のつらい気持ちを  
伝えるあなたへ



WRAPAROUND  
SUPPORT  
We provide wraparound support  
for people with mental health issues.

Visit our site for details.

\* Pride House Tokyo is open Friday through Tuesday from 13:00-19:00

# Our Future Vision





# Our Priorities until the 2025 Fiscal Year



Pride House Tokyo has three main priorities for the Consortium's activities that it is progressing on from 2023–2025.

## Priorities through the 2025 Fiscal Year

### 1 Stabilizing Our Operations as a Physical Space

Legacy's operations as a facility include counseling, meetups, and its library. To continue existing as a physical space, we hope to strengthen our foundational structure, increase collaboration and cooperation with government, and strengthen our corporate sponsorships and monthly supporter program.

### 2 Solidarity with the LGBTQ+ Community Nationwide

We aim to share resources and knowledge through cooperation with local organizations in a way that is mutually beneficial.

Our plans include network building and supporting the creation of safe and affirmative spaces for LGBTQ+ people nationwide.

### 3 Strengthening the Functions of the Consortium



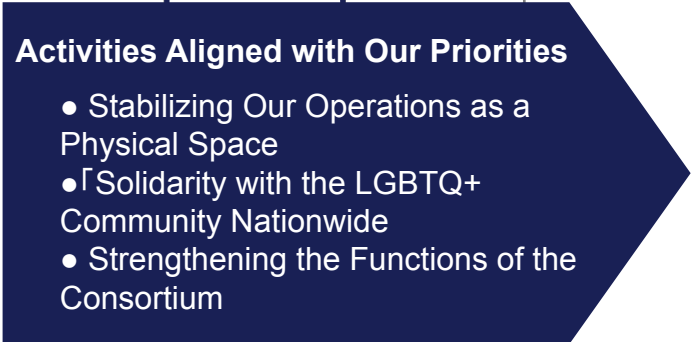





We will strengthen our activities and cross-sectoral activities based on our Learning, Supporting, and Working Together Teams, through which we hope to enhance collaboration with diverse sectors such as NPOs and corporations. We aim to achieve our mission through public-private-industry-academia collaboration that transcends the boundaries of the consortium.



# Our Benchmark Social Actions



There are many global sporting competitions and events that the Pride House Tokyo Consortium can participate in and contribute to.

Year	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
Significant Events	Rugby World Cup	COVID-19 Pandemic	Tokyo 2020 Olympics		World Aquatics Championships Fukuoka	Paris 2024 Olympics	Deaf Olympics	Aichi-Nagoya Asian Games  (Predicted) Supreme Court Ruling on Same-sex Marriage	MEXT Curriculum Revision
Action	 PHT 2019		 Team Activities				 <b>Activities Aligned with Our Priorities</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Stabilizing Our Operations as a Physical Space</li> <li>• 「Solidarity with the LGBTQ+ Community Nationwide</li> <li>• Strengthening the Functions of the Consortium</li> </ul>		
		 Pride House Tokyo Legacy	 Youth Activities	 Counselling Services	 Nationwide Network	 Expanding Sports-related Activities			

# Initiatives with Our Sponsors







# Our ERG's Initiatives 1/3



Sponsor companies can participate in Pride House Tokyo's ERG (Employee Resource Group), building connections with other companies, creating joint activities and initiatives, volunteering and more.

## What is the ERG?

We call Pride House Tokyo sponsor companies our ERG group. We conduct joint activities year-long!

## As part of our ERG, you can:

	Participate in the monthly meeting		Develop collaborative projects
	Exchange information		Volunteer

**Creating opportunities for volunteering and cross-industry collaboration.**

## Hybrid ERG meeting (08/2024)



We occasionally receive requests from other companies for consultations related to DE&I and ESG.

The networking event allowed us to interact with many people, which was very stimulating.

Media inquiries related to our LGBTQ+ initiatives have increased.



# Our ERG's Initiatives 2/3



Including Tokyo Rainbow Pride, at major events across the country, we receive hands-on volunteer support from the staff of our sponsor companies.

## Past events where we received volunteer support:



06/2024

### Yamato SYLPHiD Pride March

- Setup of a booth to raise LGBTQ+ awareness
- Participation in the stadium's opening ceremony



06/2024

### Olympic and Sports Media Briefing

- Holding a training session and reception in preparation for the Paris Olympics



07/2023

### 15-a-Side Rugby Japan National Team Pride Match

- Setup of a booth to raise LGBTQ+ awareness
- Participation in a talk event

## Testimonials from ERG Participants

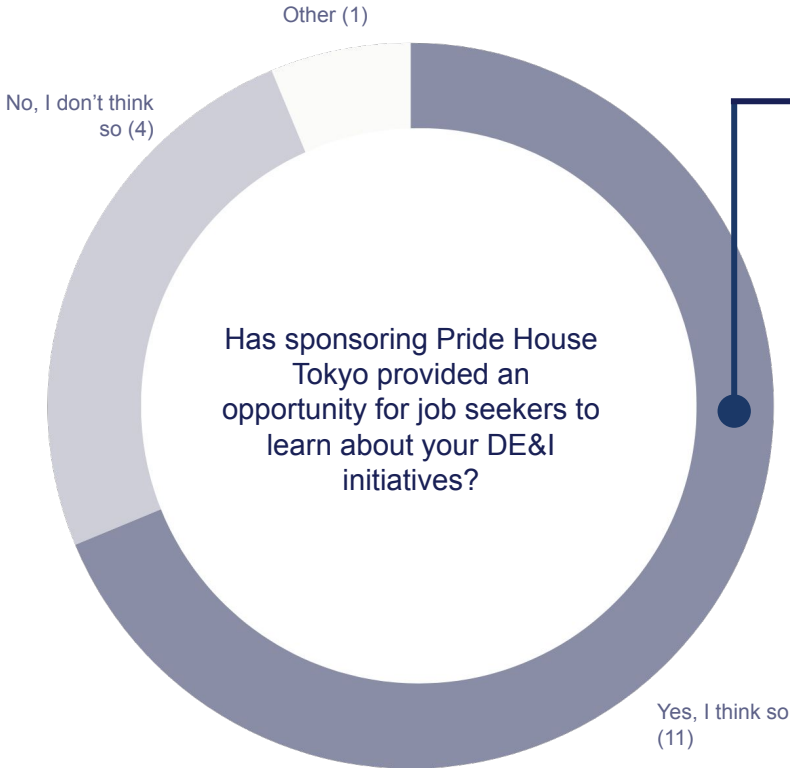
“Participating allowed me to encounter new information and values I was unaware of.” (Insurance Company)

“It was an opportunity to think about the Olympics from a perspective I don't usually consider.” (Pharmaceutical Company)

“There were also opportunities for meet-and-greet at the stadium, making it an enjoyable time.” (Insurance Company)



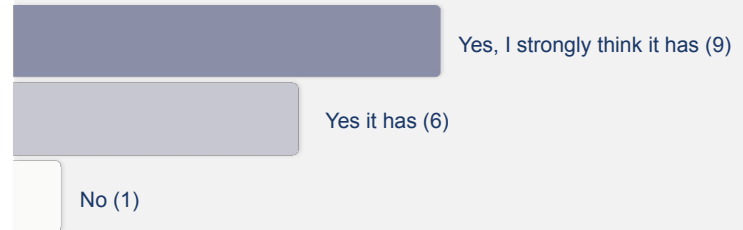
# Our ERG's Initiatives 2/3



**Approx. 70%** of company representatives responded that sponsoring Pride House Tokyo **helped job seekers learn about their company's DE&I initiatives.**

**Has sponsoring Pride House Tokyo helped you learn about the DE&I initiatives of other companies?**

about **90%** of company representatives responded that yes, it has provided an opportunity to learn about the DE&I initiatives of other companies.



Survey period: Conducted online from July 1 to July 29, 2024 (n<20)

# 2025 Fiscal Year Sponsorship Packages





# 2025 Fiscal Year Sponsorship Packages



For the 2025 fiscal year, we are offering 4 sponsorship packages. Joint social impact projects start at the Diamond package.

	 <b>Rainbow</b> ¥3 million (excl. tax)	<b>Diamond</b> ¥1 million (excl. tax)	<b>Gold</b> ¥500,000 (excl. tax)	<b>Silver</b> ¥300,000 (excl. tax)
Collaborative Projects	2	1	—	—
In-house training session	1x + Human Library	1x	*Options available	—
Joint workshop	✓	✓	✓	✓
ERG Participation	✓	✓	✓	✓
Use of Legacy's Facilities	2x	1x	*Options available	—
Company Logo Display Size	Large	Medium	Small	Smallest

## Appendix

\*Options available: You can elect to have either an in-house training session or to use Legacy's facilities once.

**Human Library:** Individuals become "human books" to share their personal experiences and stories with others to promote dialogue and understanding.

**Joint workshop:** We will conduct two joint training sessions per year. Any member of our sponsor companies can participate.

**Use of Legacy's Facilities:** On Wed. and Thurs. when Legacy is closed, you can schedule to use our facility (for training, tours, workshops, etc.).



# Additional Details On Our Sponsorship Packages (1/2)



## Collaborative Project

### Objective

To create collective impact by bringing together the resources of companies and Pride House Tokyo to raise LGBTQ+ awareness in a variety of ways.

### Notes

Two staff members and approx. six meetings per project. For Rainbow sponsors, the two projects can be combined into one.

\*We will do our best to respond flexibly to requests. However, due to constraints in resources, some plans may require additional fees, support, or changes from the initial plan. (Resources that PHT can provide include ideas from an LGBTQ+ perspective, advice, supervision of internal materials, etc.)

## Internal Training Session

### Instructor

Training sessions are generally led by co-directors, but specific themes can be discussed based on your needs. About one meeting will be held prior to the session.

### Notes

The Rainbow plan Human Library can be operated with 1-2 staff members. If you would like to request additional speakers, you can for a separate fee.

\*If a trainer aside from the co-directors is requested, additional fees based on the standard training rate may apply.

## Distribution of Exclusive Online Content

### About

We provide special videos (YouTube distribution, twice a year). Each video can be viewed for about one and a half months. Employees of sponsoring companies can watch as many times as they wish. Sign language interpretation and English subtitles are available.

### Examples

#### Exclusive Videos Provided in 2024

- "What is Pride House? Pre-Olympic Project" (June)
- "Autumn Reading: Recommended LGBTQ+ Reads" (November)





# Additional Details On Our Sponsorship Packages (2/2)



## Use of Legacy's Facilities

### Notes

Legacy can be used primarily on Wednesdays and Thursdays (the days our regular operations are closed) for approx. four hours.

Because this is outside our operating hours, a minimum of one of our staff members will attend. If, including time for set-up and clean-up, the event takes over four hours, we would appreciate it if you could contact us in advance regarding our staff's labour costs. Please consult with us if you wish to use Legacy on a day when we are not closed.

### Previous Examples

**Company A:** Movie screening, planned by a member of Company A. People drink and eat while watching the movie, followed by a discussion session (Total time, including set-up and cleaning: 4 hours)

**Company B, C, and D:** The companies use their Collaborative Project and Use of Legacy's Facilities benefits to hold an Online Event. PHT plans the event and event speakers (Total time, including set-up and cleaning: 4 hours)

## ERG Regular Meeting

### Participation

As a place for sponsor companies to network with each other, we hold regular meetings once a month (online, in-person held 2x per year), and a joint project once per year. Three people can participate per company.

### Joint Projects

Once a year, we implement a joint project planned in collaboration with all sponsoring companies.



2022 Fiscal Year



2023 Fiscal Year



# Participating in Our Teams



Our sponsor companies all participate in one of our teams. When you apply to be a sponsor, please share which team you wish to participate in.

## Pride House Tokyo's Teams



- You can participate in either “Learning Together,” “Mutual Support,” or “Working Together”
- You can choose themes that match your company's needs





# Our Sponsors for the 2024 Fiscal Year



In the 2024 fiscal year, over 30 companies supported Pride House Tokyo. Many of these sponsoring companies received Rainbow or Gold awards on the PRIDE Index.

<p>Rainbow</p>						
<p>Diamond</p>						
<p>Gold</p>						
<p>Silver</p>						



# Sponsorship Merits



Sponsoring Pride House Tokyo or joining the consortium has many benefits, including long-term corporate PR and reduced training costs!

## External Benefits

### Media Exposure

Our previous collaborative projects have been covered multiple times by media.

### Create an Image as a Company Advanced in DEI

Create an appeal as a company advanced on LGBTQ+ issues.

### Long-term PR

Pride House Tokyo is not a one-off event, but a long-term, ongoing PR opportunity

## Internal Benefits

### Training Cost Reduction

Reduce costs through use of the training in our sponsorship package

### Exchange Best Practices Across Sectors

Engage in activities that transcend company and sectoral boundaries. For example, joint training sessions with other companies.

### Opportunities for Employees to do Social Good

Can provide employees with an opportunity to contribute back to society through volunteering.



# Media Exposure



Pride House Tokyo has been featured in domestic and international media. Sponsorship can contribute to establishing an image as a company proactive on LGBTQ+.

## Highlights



**100+**  
media reports  
(2017-2024)



**84+**  
media  
companies  
(2017-2024)



**1.13 million**  
visits to our  
website  
(2017-2024)



**360,000+**  
YouTube views  
(2017-2024)

Over the course of  
the year, we  
receive significant  
media coverage.

We can create  
visibility for your  
company's  
initiatives.

Previously featured in:

Mainichi Shimbun, NHK, Asahi Shimbun, TV TOKYO, HuffPost, Tokyo Shimbun, TBS, Kyodo News, BuzzFeed, Reuters, Nihon Keizai Shimbun, Hokkaido Shimbun, and more.



# Official Guidebook



Your company's logo and advertisement will be featured in the official guidebook, which is published annually with over 6,000 copies distributed. The guidebook is also available for download on the official website, with 2,178 downloads recorded from November 2023 to October 2024. It is distributed at Legacy and various events across Japan.

## 2024 Guidebook



8 多岐なチーム分野で活動し連携   Our consortium is divided into eight teams	
A 多岐な分野   EDUCATION & RESOURCES	
1	教育・多様性啓発   Education and Diversity Awareness
2	文化・歴史アーカイブ   Culture / History / Archives
C ともに支える   SAFETY & SUPPORT	
3	安全とヘルプデスク   Wellness Support
4	高層高所づくり   Safe Spaces
D ともに動く   NETWORK & MOVEMENT	
5	多岐な活動と連携   Collaborative Messages
B	祭典・スポーツイベント・ボランティア   Festivals / Sporting Events / Volunteer
7	仕組みづくり   Framework for Sustainability
B	レガシー運営   Legacy Management

Depending on the sponsorship package, it is also possible to create a feature page or an interactive page. The size of the advertisement also depends on the sponsorship package.



25

We look forward to working with you!

THANK YOU



**Deadline: Mon. March 31, 2025**

**\*We can respond to requests for accommodation regarding the deadline as necessary.**

**If you plan to apply, please contact: [sponsor@pridehouse.jp](mailto:sponsor@pridehouse.jp)**

